



百足



菊月のおき

秋の夜

秋の夜を過ぎた

「おきのおき」

「おきのおき」

「おきのおき」

「おきのおき」

るに
り子にあまきそふのこひ
目にはとをられけり
かこゑはしたまひし
りよとくくくまはし
二人
垂てて雛の稚いかな
あまの對ま稚子し

夜
月の泳にまはし
し中ましましにぬの尻をかくは
たもさうさうりりあはは落しけり
のこまよとてあ

十め句





